

今年度は3月22日に開催決定！

福岡小郡ハーフマラソン大会

# 大会を支える人



春の小郡をランナーが駆け抜ける「福岡小郡ハーフマラソン大会」は、令和2年の開催で42回目を迎えます。昭和53年に行われた第1回大会は、城山公園周辺を走る仲間「50人」の手作りの大会でしたが、回を重ねるごとに参加者は増えていき、昨年度は全国各地から5,000人ももの参加がありました。大会の規模が大きくなるとともに、多くのスタッフが必要となり、ボランティアの数は現在約800人となっています。全国から訪れるランナーに思う存分小郡を満喫してもらうため、大会を支えているボランティアを紹介します。



## こんな活動をしています

### ◆受付係



### ◆手荷物預かり係



### ◆交通整理員



### ◆救護係



### ◆給水係



### ◆記録証発行係



## ボランティアの声

手荷物預かり係  
江藤順子さん  
〔卓球連盟小郡  
ママ代表〕



各地から老若男女の大勢の参加があり、いつも感動します。5,000人以上の荷物を預かるのは、苦労しますが、荷物の返却をスムーズに行えるように工夫して整理しています。

交通整理員

山田数典さん  
(上岩田区)



昨年初めてボランティアとして参加し、ランナーの皆さんが安全に走ることができるように、コーンの設置や歩行者の誘導に当たりました。多くのランナーの姿に感動したので、私も一度は郷土を走りたいです。

給水係

柳瀬明弘さん  
〔三井高校ボラ  
ンティア部〕



給水は、序盤が選手のスピードの速さ、中盤以降は選手の数と、状況に合わせた対応が必要で大変でしたが、楽しく活動できました。もっと多くの人にボランティアに参加してほしいです。

## ボランティアへのご挨拶

ランナー  
森山大介さん



大会にはこれまで5回参加していますが、フラットに近いコースで、緑あふれる田んぼを見ながらの健康マラソン、楽しく走っています。毎回ボランティアの皆さんの活躍を間近で見て、力をもらっています。特に笑顔での給水がとてもありがたいです。

ゲストランナー  
小鴨由水さん



毎年、皆さんと楽しく走っていますが、これほどの大会が続いているのは、大会運営やボランティアの方々の協力があるからこそだと思います。本当に感謝しています。太鼓での応援や沿道での途切れない声援が、ランナーにとって大きな力となります。

実行委員長 清水 博さん

全国からランナーが集まる本大会。ランナーの安全・安心の確保はもちろん、おもてなしなども考えながら大会を運営しています。大会運営は、多岐にわたる仕事があり、ボランティアの皆さんの協力なしには、大会が成り立ちません。いつも全力で大会を盛り上げ、支えていただいているボランティアの皆さんに感謝します。



## あなたも大会を支えるボランティアの一員になりませんか？

「スポーツを見るのは好きだけど、自分が走るのちょっと…」「頑張っている人を応援したい!」。そんな皆さん、温かいおもてなしでランナーの皆さんをサポートしませんか。

- 日時 3月22日(日)／午前8時～午後0時30分(予定)
- 対象 16歳以上
- 定員 100人程度
- 申込方法 ファクス・はがき・Eメールで、①氏名②住所③年齢④連絡先を明記し、申込み
- 申込締切 令和2年1月31日(金)まで
- 申込・問合せ先 福岡小郡ハーフマラソン大会事務局 ☎80-5929 ファクス80-5967 〒838-0115 小郡市大保427-1 Eメール sports@ogori-taikyo.org

オリジナルキャップと  
交通費1,000円を  
支給します



ランナーの募集は11ページ